

除雪現場の省力化による生産性・安全性向上を目指す

プラットフォーム『i-Snow』（第16回）を開催

～除雪機械の高度化を目指した産学官民連携の取組～

北海道開発局は、産学官民が連携して除雪現場の省力化に資する技術開発等に取り組む第16回プラットフォーム「i-Snow」を下記のとおり開催します。
今回は、令和7年度の取組などについて、情報共有・意見交換を行います。

近年、北海道内では、異常気象による暴風雪等の冬期災害が頻発する傾向にあり、長時間の通行止めが発生しています。そのため、第9期北海道総合開発計画（令和6年3月閣議決定）が掲げる「北海道の価値を生み出す北海道型地域構造～生産空間の維持・発展と強靱な国土づくり」の実現に向けた取組を関係者が連携し、より強力に推進していく必要があります。

他方、除雪作業に携わるオペレータ等の高齢化が進行するなど、担い手確保等の課題があることから、更なる除雪現場の効率化を図ることが求められています。

北海道開発局では、積雪寒冷地特有の地域課題の解決、地域発のイノベーションに向けて、北海道におけるi-Constructionの取組を進めており、その一環として、産学官民の幅広い連携を確保しながら除雪に関する課題の解決を図るためのプラットフォーム「i-Snow」を平成29年3月28日に発足し、これまでに15回のプラットフォームを行っています。

記

- 日時： 令和7年10月29日（水）10：00～
場所等： TKP札幌駅カンファレンスセンター3階ホール3D（札幌市北区北7西2-9）
及びWEB会議
次第： 別紙-1参照
その他： 報道関係の方は会場またはWEB上での傍聴が可能です。なお、会場でのカメラ撮りは冒頭挨拶までとさせていただきます。希望される方は10月28日（火）17時までに、「hkd-ky-doui@ki.mlit.go.jp」までメールにて別紙-2のとおりご連絡ください。（WEBでの傍聴の場合はURLを送付いたします）
過去のプラットフォームの会議資料等は、以下のURLからご覧いただけます。
<https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/jg/gijyutu/splaat0000010dmm.html>

【問合せ先】国土交通省 北海道開発局 電話（代表）011-709-2311

建設部 道路維持課 課長補佐 よこやま 横山 ともき 朋紀（内線 5383）

事業振興部 機械課 課長補佐 なかじょう 中條 たかし 高司（内線 5946）



北海道開発局ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/>

令和 7 年度 除雪現場の省力化による生産性・安全性の向上に関する取組 プラットフォーム『i-Snow』 < 第 16 回 >

日時：令和 7 年 1 0 月 2 9 日（水） 10：00～

次 第

I. 開 会

II. 挨拶

国土交通省 北海道開発局 建設部長 遠藤 平

III. 事務局報告及び提案

1. プラットフォームメンバー・オブザーバーの紹介
2. 構成員の追加について

IV. 関係機関の取組状況等

1. 令和 6 年度の実証実験結果、令和 7 年度の取組
(国土交通省 北海道開発局・国立研究開発法人 土木研究所 寒地土木研究所)
2. 準天頂衛星システムを活用したロータリ除雪車自動化の状況
(NEXCO 東日本 (株))
3. 歩道除雪用リアルタイム人検知システムの検討
(株式会社 NICHIJ0)
4. 視程不良時映像鮮明化技術の更なる高度化検討事例について
(株式会社 岩崎)
5. 映像コミュニケーションを活用した除雪関連業務の効率化について
(セーフィー 株式会社)
6. 一般国道 1 2 号砂川市砂川道路維持除雪外一連工事における DX の取組について
(株式会社 泰進建設)

V. 総 括

VI. 閉 会

送付先：hkd-ky-doui@ki.mlit.go.jp

件名：【傍聴希望】 i – S n o w（第 16 回）傍聴申込み

**本文：氏名（ふりがな）、所属、連絡先、「会場」または「WEB」
の別を記載願います。**

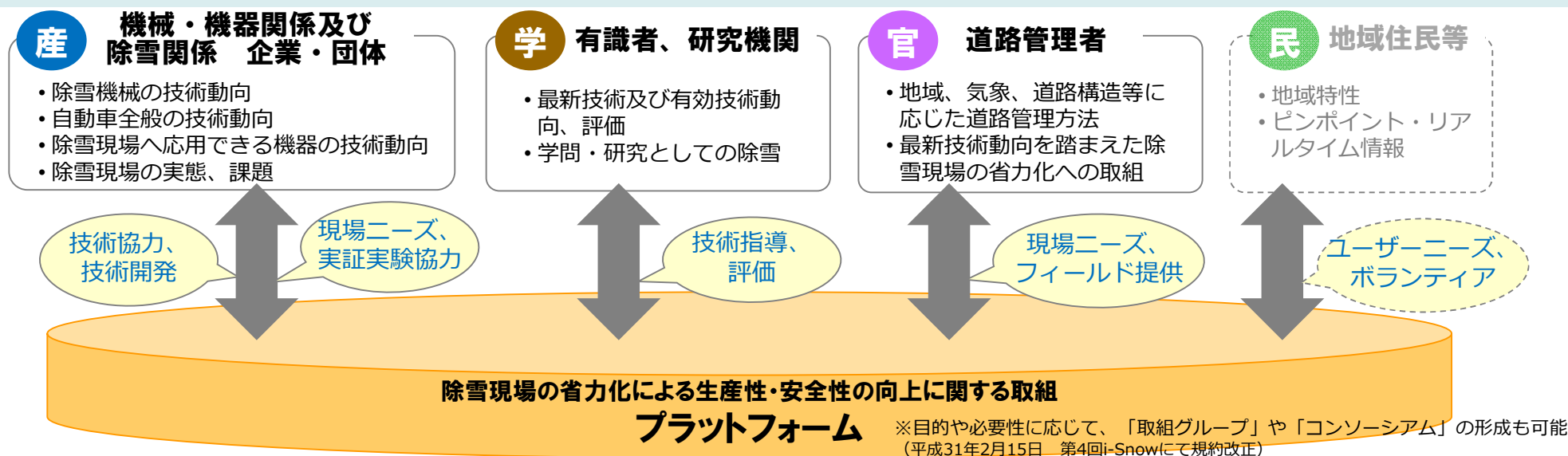
※令和 7 年 10 月 28 日（火）17 時までに、お申し込みください。

※WEB 上での傍聴希望の方には会議 URL を送付します。

※ご記入頂いた個人情報は、本プラットフォームの開催に関する連絡以外では使用しません。

【持続可能な道路除雪に向けた取組 ～i-Snow～】

- ・第9期北海道総合開発計画（令和6年3月12日閣議決定）がスタート
- ・積雪寒冷地特有の地域課題の解決、地域発のイノベーションに向けて、北海道におけるi-Constructionの取組として、除雪現場の省力化に向け、**産学官民が幅広く連携して取り組むプラットフォーム【通称 i-Snow】**を形成



第1回 i-Snow : 平成29年 3月28日
 第2回 i-Snow : 平成29年 9月29日
 第3回 i-Snow : 平成30年 3月28日
 第4回 i-Snow : 平成31年 2月15日
 第5回 i-Snow : 令和元年 6月26日
 第6回 i-Snow : 令和元年12月12日
 第7回 i-Snow : 令和 2年 6月25日
 第8回 i-Snow : 令和 2年12月 9日
 第9回 i-Snow : 令和 3年 7月27日
 第10回 i-Snow : 令和 3年12月13日
 第11回 i-Snow : 令和 4年 7月26日
 第12回 i-Snow : 令和 4年12月13日
 第13回 i-Snow : 令和 5年 7月26日
 第14回 i-Snow : 令和 5年12月13日
 第15回 i-Snow : 令和 6年10月30日

『産』

(一社) 日本建設機械施工協会、
 (一社) 建設コンサルタンツ協会、
 アイサンテクノロジー(株)、
 (株)NICHIGO、(株)協和機械製作所、
 (株)岩崎、(一財) 宇宙システム開発利用推進機構
 SoftBank (株) (ALES (株))、(株)玉川組
 環境開発工業(株)、セーフィー(株)

『学』

北海道大学 萩原名誉教授
 北海道大学 大学院農学研究院 野口教授
 国立研究開発法人 土木研究所 寒地土木研究所

『官』

北海道開発局 (道路、機械、空港)
 東京航空局、北海道、札幌市、NEXCO東日本

除雪現場の省力化による生産性・安全性の向上に関する 取組プラットフォーム構成員

<有識者>

北海道大学 萩原 亨 名誉教授

北海道大学 大学院農学研究院 野口 伸 教授

<行政機関>

国土交通省 北海道開発局

東京航空局

北海道

札幌市

<研究機関>

国立研究開発法人 土木研究所 寒地土木研究所

<関係団体等>

東日本高速道路株式会社 北海道支社

一般社団法人 日本建設機械施工協会北海道支部

一般社団法人 建設コンサルタンツ協会北海道支部

一般財団法人 宇宙システム開発利用推進機構

株式会社 NICHIO

株式会社 協和機械製作所

株式会社 岩崎

アイサンテクノロジー 株式会社

SoftBank 株式会社 (ALES 株式会社)

株式会社 玉川組

環境開発工業 株式会社

セーフィー 株式会社